

第8回香川県特別支援学校知的障害教育校

ソフトボール大会を開催します！

— 一投一打に力をこめて戦います —

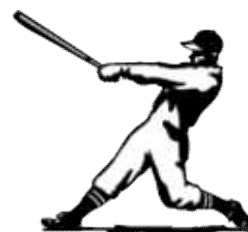
香川県特別支援学校知的障害教育校間の交流と親ほくを深めつつ、競技力の向上を図り、積極的に社会参加しようとする意欲、態度を育成することを目的に開催します。

ティーボール用のボールとバットを使用し、スローピッチで投げたボールを打つソフトボール競技です。5チームによるトーナメントを行います。敗者復活もあり、3位まで決定します。

1 日時 令和6年5月15日 水曜日 [天候不良の場合は5月16日 木曜日に順延]
9時20分～15時10分

2 場所 林田運動公園
(坂出市林田町4285-155 TEL0877-47-3893)

3 主催者 香川県特別支援学校知的障害教育校長会
共催者 香川県教育委員会
後援者 香川県手をつなぐ育成会・四国新聞社



4 参加者 香川県立香川東部支援学校 香川県立香川中部支援学校
香川県立香川西部支援学校 香川県立香川丸亀支援学校
香川大学教育学部附属特別支援学校
中学部・高等部生徒 約100名

5 その他 ・競技の詳細については別紙大会要項をご覧ください。
・雨天の場合、順延についての判断は午前6時に行います。



第8回香川県特別支援学校知的障害教育校ソフトボール大会要項

- 1 目的 香川県内の特別支援学校間の親睦と交流を深め、障害を克服し、スポーツを通して積極的に社会参加に努める態度の育成を目的とする。
- 2 主催 香川県特別支援学校知的障害教育校長会
- 3 共催 香川県教育委員会
- 4 後援 香川県手をつなぐ育成会
四国新聞社
- 5 期 日 令和 6年5月15日(水) 9:20~15:10
予備日 5月16日(木) 9:20~15:10
- 6 会 場 林田運動公園(坂出市林田町4285-155) TEL (0877) 47-3893
- 7 競技方法 トーナメント戦で行う。(敗者復活戦の勝者が3位決定戦に進出する。)
- 8 競技規則 (財)日本ソフトボール協会「学校体育ソフトボールガイドブック」に従うものとするが、以下の点について特別ルールを適用する。
 - (1) 競技場
 - ①投捕間は12.19mとし、ピッチャープレートは使用せず50cm×15cmのラインを引く。
 - ②ダイヤモンドの塁間は18.29mとする。
 - ③競技場境界線は原則として7mとする。なお、林田運動公園で競技する場合は縁石とする。
 - ④ホームランゾーンまでの距離は55mとし、ホームランライン上にコーンを置く。
 - ⑤ベースはソフトボール用を使用し、固定する。
 - ⑥ピッチャーサークル(半径2.44m)を設置する。
 - ⑦バッターズサークル(半径3m)を設置する。
 - ⑧コーチャーズボックスはソフトボールの競技場に準ずる。
 - ⑨ネクストバッターボックスはベンチ前に設置する。
 - (2) 用具
 - ①ボールは(財)日本ティーボール協会検定12号グリーンソフトボールを使用する。
 - ②バットはティーボール用を使用する。(メーカーは問わない)
 - ③金属製のスパイクは禁止とする。(ポイントスパイクは認める)
 - (3) チーム編成
 - ①監督1名、コーチ3名以内、記録員1名、選手20名、マネージャー2名とし、監督もしくはコーチがランナーコーチを務める。
 - ②守備は10人とし、女子1名以上を起用する。
 - ③EH制を認める。
 - ④打者は12名までエントリーできる。
 - ⑤選手交代は監督による申請によるものとする。
 - (4) 試合
 - ①攻守の決定は代表者の「じゃんけん」で決定する。
 - ②5回で試合終了(決勝は7回)とするが、1時間を超えて新しいイニングに入らない。ただし、1時間以内での延長戦は認める。
 - ③同点のまま1時間を超えた場合、登録メンバーの代表者のくじ引きにより勝敗を決定する。
 - ④タイムは1試合で各チーム3回までとする。
 - ⑤投球は1.5m以上3m未満の高さを保つこと。
 - ⑥ストライクの基準は、打者の前肩から後膝の通過とする。
 - ⑦捕手は3mラインの外側で捕球する。
 - ⑧インフィールドフライは適用しない。
 - ⑨タッチアップは認めない。
 - ⑩リエントリー制を採用する。(先発選手のみで1人1回まで)
 - ⑪ホームランライン上のコーンにボールがノーバウンドで当たればホームラン、ワンバウンド以上で当たればエンタイトルツーベースとする。
 - ⑫ホームランライン上の捕球はアウト、捕球してラインを超えるとテイク1とする。
 - ⑬選手が野手からの返球を捕球し、ピッチャーサークル内に入ればボールデッドとする。(ピッチャーサークルのラインを片足でも踏んでいれば、ボールデッドとする)
 - ⑭守備において競技場境界線を越えた場合はテイク2とし、野手が投げた時点の場所から2つ進塁する。なお、縁石に当たって跳ね返ってきたボールはフリーとする。また、競技境界線を越えてのフライ捕球はファール、捕球して境界線を超えるとアウト1テイク1とする。
 - ⑮アピールプレイは、打順違いと塁の踏み忘れの2点とし、監督が行う。なお、ホームにおいて踏み忘れのアピールがあった場合、後者の得点は認められる。

- ⑯ルール適用上、疑問があるとき以外は抗議できない。(監督に限る)
- ⑰試合終了後、両監督は記録係のオーダー用紙にサインし、試合成立の確認をする。
- ⑱審判は5人制で行い、主審は打者の側方に配置し、ベース後方ラインを参考にしてストライク・ボールの判定をする。
- ⑲敬遠申告制を適用する。

(5) 打者

- ①ツーストライク後のファウルボールは三振とする。
- ②バッターボックスから出て打撃をした場合はアウトとする。
- ③バントは禁止とし、行った場合はアウトとする。

(6) 走塁

- ①一塁ベースにおいてのみ、ベースの駆け抜けを認める。(2・3塁ベースの駆け抜けは認めない)
- ②スライディングは禁止とし、行った場合はアウトとする。
- ③離塁は1回目が指導、2回目からはアウトを適用する。
- ④離塁はボールがバットに当たった時点とするが、空振りによる離塁は判断しない。
- ⑤二人の走者が同一の塁を占有することは認めず、二人にタッチした場合は後位の走者をアウトとする。
- ⑥走路は空け走者を妨げてはいけない。

9 審判員 主審は坂出市ソフトボール協会の公認審判員、その他は5校から委嘱された審判員による。

10 表彰 優勝チームに賞状及び優勝カップ、金メダルを授与する。
準優勝チームに賞状及び準優勝カップ、銀メダルを授与する。
第3位チームに賞状及び第3位カップ、銅メダルを授与する。
※ マネージャー2名にも、メダルを授与する。

11 参加申込み 各校1チームとし、所定のファイルに記入の上、4月18日(木)までに、E-mailにより申込むこととする。

12 組合せ抽選 4月9日(火)の実行委員会で行う。

13 備考

- (1) 出場選手は必ずコーチが引率し、すべての行動に対してコーチの指示に従うこと。
- (2) 試合中に傷害及び疾病が発生した場合、大会事務局が応急処置をするが、その後の処置は参加校で対応する。
- (3) ベンチには27名以内(各試合登録選手20名、監督1名、コーチ3名、記録員1名、マネージャー2名)とする。
- (4) ユニホームは原則として、各校同一のものとし、背番号を背中中央につけること。

14 延期及び中止の決定

6:00に大会事務局で決定し、延期または中止の場合のみ、6:10までに各校に連絡

学 校 名	代 表 者
香川西部支援学校	佐治 建太
香川丸亀支援学校	田中 星悟
香大附属特別支援学校	栗嶋 竹志
香川中部支援学校	山田 健一郎
香川東部支援学校	橋塚 竜郎

15 大会事務局

〒763-0085 香川県丸亀市飯野町東分592-1
香川県立香川丸亀支援学校内
第7回香川県特別支援学校知的障害教育校ソフトボール大会実行委員会事務局
TEL 0877-24-1215 教諭 田中 星悟
FAX 0877-24-7318
E-mail hd2401@kagawa-edu.jp